

## VIII. 文 献

- 1) 沖縄県(1989): 昭和63年度地域特産種増殖技術開発事業報告書(タカセガイ). 亜熱帯磯根グループ, 51pp.
- 2) 沖縄県(1990): 平成元年度地域特産種増殖技術開発事業報告書(タカセガイ). 亜熱帯磯根グループ, 31pp.
- 3) 沖縄県(1991): 平成2年度地域特産種増殖技術開発事業報告書(タカセガイ). 亜熱帯磯根グループ, 30pp.
- 4) 沖縄県(1992): 平成3年度地域特産種増殖技術開発事業報告書(タカセガイ). 亜熱帯磯根グループ, 39pp.
- 5) 沖縄県(1993): 平成4年度地域特産種増殖技術開発事業報告書(タカセガイ). 亜熱帯磯根グループ, 37pp.
- 6) 大城信弘・宇佐美智恵子(1991): 貝類増養殖試験. 平成元年度沖縄県水産試験場事業報告書, 215-238.
- 7) 大城信弘・宇佐美智恵子(1992): 貝類増養殖試験. 平成2年度沖縄県水産試験場事業報告書, 170-206.
- 8) 玉城英信(1994): 平成5年度地域特産種量産放流技術開発事業報告書(ヤコウガイ). 亜熱帯磯根グループ, 沖26pp.
- 9) 玉城英信(1995): 種苗量産・中間育成. 平成6年度地域特産種量産放流技術開発事業報告書(ヤコウガイ), 亜熱帯磯根グループ, 沖1-19.
- 10) Tamashiro, E., Fijita, F. and Sakata, K. (1993): Induction of Larval Metamorphosis of *Trochus niloticus* by GABA and Coralline Red Algal Extract. Bull. Japan. Soc. Sci. Fish, 1261.
- 11) 玉城英信・内藤美佐子 (1994): 平成5年度地域特産種量産放流技術開発事業報告書. 亜熱帯グループ, 20pp.
- 12) 玉城英信・仲本光男・大城信弘 (1991): ヤコウガイ稚貝の餌料試験. 平成元年度沖縄県水産試験場事業報告書, 239-244.
- 13) 玉城英信・翁長誠 (1992): ヤコウガイ稚貝の餌料試験II. 平成2年度沖縄県水産試験場事業報告書, 207-212.
- 14) M. Murakoshi, T. Komatsu and R. Nakamura (1993): Development of Mass Seed Production Techniques for Green Snail *Turbo marmoratus* in Okinawan Water. Suisanzoushoku, 41 (3), 299-309.
- 15) T. Komatsu, M. Murakoshi and R. Nakamura (1995): A Study on the Reproduction of Green Snail, *Turbo marmoratus* in the Ryukyu Islands, Southern Japan. Suisanzoushoku, 43 (3), 297-304.
- 16) M. Yamaguchi (1988): Marine ranching as a means of resource management. Aquabiology, 57, 250-255.
- 17) Heslinga, G. A and A. Hillmann (1981): Hatchery culture of the commercial top snail *Trochus niloticus* in Palau, Caroline Islands. Aquaculture, 22, 35-43.

- 18) 玉城英信 (1994) : 平成3-5年度特定研究開発促進事業中間報告  
(微小藻類の大量培養技術開発研究). 沖70pp.
- 19) 千原光雄・原慶明 (1988) : 餌料藻類の分類と培養. 昭和62年度栽培漁業技術  
研修事業基礎理論コース, 餌料生物シリーズNo.2, 17pp.
- 20) 西澤一俊・千原光雄 (1979) : 藻類の分類表. 藻類研究法, 715-717.
- 21) 伊東義信・中尾義房 (1987) : アカウニ稚ウニ期初期の餌料として有効な付  
着珪藻種の探索 - I 付着珪藻の分離および保存. 佐賀県栽培漁業センター  
研究報告, (1), 25-29.
- 22) 田中信彦 (1987) : 天然餌料としての付着珪藻類とその培養.  
水産土木, 24(1), 37-42.
- 23) 田中信彦 (1987) : 付着珪藻の大量培養法とその利用.  
(社)日本水産資源保護協会月報, 279, 9-15.
- 24) 日本分析化学北海道支部編 (1989) : 水の分析 - 第3版 -. 501pp.
- 25) 西条八束 (1975) : クロロフィルの測定法. Jap. J. Limnol. 36, 103-109.
- 26) 岡内正典 (1992) : 水産餌料としての利用. 水産学シリーズ91微細藻類の利  
用 (山口勝己編), 75-88.
- 27) 福島県 (1988) : 昭和63年度特定研究開発促進事業 (初期餌料の培養技術  
開発研究報告書). 種苗研調査研究資料, No.6, 14-27.
- 28) 梅林修 (1961) : 餌料生物としての *Chaetoceros simplex* の培養について.  
水産増殖, 9, 145-150.
- 29) 田中弥太郎 (1982) : 二枚貝幼生餌料としての耐高温性珪藻 *Chaetoceros*  
*ceratosporum* Ostenfeld の有効性について. 養殖研究報告, 3, 31-36.
- 30) 千葉県 (1994) : 平成3-5年度特定研究開発促進事業中間報告 (微小藻類  
の大量培養技術開発研究). 千48pp.
- 31) 鳥羽光晴・深山義文 (1993) : イソクリシス・タヒチ株の大量培養 - I. 培  
養条件. 栽培漁業技術開発, 21(2), 45-54.
- 32) 岡内正典 (1988) : テトラセルミス *Tetraselmis tetrathele* (West, G. S.)  
Butcher の大量培養に関する研究. 養殖研究報告, 14, 1-123.
- 33) 岡内正典 (1989) : 「テトラセルミスについて」. 昭和63年度栽培漁業技術  
研修事業基礎理論コース餌料生物シリーズNo.6, 382pp.
- 34) 岡内正典 (1987) : テトラセルミス *Tetraselmis tetrathele* (West, G. S.)  
Butcher の大量培養に関する研究. 博士論文, 204PP.
- 35) 高橋完爾 (1986) : 緑藻類 *Ulva lens* の生態に関する研究.  
宮城栽セ事業報 (昭和59, 60年度), 32-60.
- 36) 村越正慶・杉山昭博・廣谷育子 (1988) : 水質等環境調査.  
昭和62年度川平保護水面調査報告書, 15-23.
- 37) 福島県 (1994) : 平成3-5年度特定研究開発促進事業中間報告  
(微小藻類の大量培養技術開発研究). 福59pp.
- 38) 瀬古慶子 (1985) : *Pavlova lutheri* の培養における照度の影響について.

- 昭和59年度三重県栽培漁業センター事業報告書, 89-93.
- 39) 伊東義信・伊藤史郎・金丸彦一郎 (1988): アカウニ稚ウニ期の餌料としての有効な付着珪藻種の探索 - II, 分離した付着珪藻9種の増殖特性. 佐賀裁セ研報告, 31-34.
  - 40) 鳥羽光晴・深山義文 (1993): イソクリシス・タヒチ株の大量培養 - II. 好適培養液. 栽培漁業技術開発, 21(2), 55-62.
  - 41) 伊藤史郎・有吉敏和・伊東義信 (1985): *Chaetoceros gracilis* の大量培養法 昭和55~58年佐賀裁セ研報告, 97-103.
  - 42) 福井県 (1989): 昭和63年度地域特産種増殖技術開発事業報告書. 棘皮類, 1-20.
  - 43) 伊東義信・中尾義房 (1987): アカウニ稚ウニ期の餌料としての有効な付着珪藻種の探索 - I, 付着珪藻の分離および保存. 佐賀裁セ研報告, (1), 25-29.
  - 44) 浮 永久 (1987): アワビ類の増殖に関する基礎研究. 博士学位論文, 428pp. 東京大学.
  - 45) 浮 永久・菊池省吾 (1979): 付着性微小藻類6種のエゾアワビ稚貝に対する餌料効果. 東北水研研究報告, (40), 47-52.
  - 46) 浮 永久 (1990): 巻貝類の成熟、産卵と種苗の育成. 平成2年度栽培漁業技術研修事業基礎理論コース親魚養成シリーズ No.6, 102pp.
  - 47) 長島弘三・目良誠二 (1989): 化学. 裳華房, 312pp.
  - 48) 木村武志・平岡政宏 (1987): 新魚種種苗生産技術開発試験 (アカウニ種苗生産試験). 熊本県水産試験場事業報告書, 83-85.
  - 49) 伊東義信・伊東史郎・金丸彦一郎・真崎邦彦 (1987): 付着珪藻 *Navicula ramosissima* のアカウニ稚ウニ期餌料としての効果. 水産学会誌, 53(10), 1735-1740.
  - 50) 勝俣亜生・与那嶺盛次 (1993): 餌料生物の培養. 平成5年度沖縄県栽培漁業センター事業報告書, 6-11.
  - 51) 吉松定昭・小野知足 (1980): 鞭毛藻, *Pavlova lutheri* (Droop) Green とその炭酸ガス通気培養試験. 栽培技研, 9, 27-32.
  - 52) 山田 収・高野秀昭 (1987): 寒天を用いた付着性の珪藻の大量培養. 東海水研報, (12), 13-18.
  - 53) 大野正夫 (1991): 深層水を利用した海藻類の培養. くろしお, 高知大学黒潮研究特別号 No.5, 35-37.
  - 54) 深見公雄・西島敏隆・畑幸彦 (1991): 餌料性微細藻類の増殖を促進する細菌の深層海水からの分離とその効果. くろしお, 高知大学黒潮研究所特別号 No.5, 17-21.
  - 55) K. Fukami, T. Nishijima and Y. Hata (1992): Availability of Deep Seawater and Effects of Bacteria Isolated from Deep Seawater on the Massculture of food Microalga *Chaetoceros ceratosporum*. Nippon Suisan Gakkaishi, 58(5), 931-936.

- 56) 島袋新功 (1995): ハワイ深層水利用調査報告. 水試ニュース, 第4号, 10.
- 57) 熊本県 (1994): 平成3-5年度特定研究開発促進事業中間報告  
(微小藻類の大量培養技術開発研究). 熊30pp.
- 58) Suminto and K. Hirayama (1996): Effect of Bacterial Coexistence on the Growth of a Marine Diatom *Chaetoceros glacilis*.  
Fisheries Science, 62 (1), 40-43.
- 59) 江草周三 (1990): 魚病論考. 恒星社更正閣, 187pp.
- 60) 江草周三 (1982): 魚病学辞典. 近代出版, 383pp.
- 61) 勢村均 (1994): イタヤガイ幼生飼育において飼育水中に出現する細菌の数量的変動と幼生に及ぼす影響. 水産増殖, 42 (1), 157-164.
- 62) M. Maeda and I. C. Liao (1992): Effect of Bacterial Population on the Growth of Prawn Larva, *Penaeus monodon*.  
Bull. Natl. Res. Inst. Aquaculture, 21, 25-29.
- 63) 酒井美恵 (1996): 微小藻類の大量培養技術開発研究.  
特定研究開発促進事業年度末報告会資料, 12pp.
- 64) M. Maeda, K. Nogami and N. Ishibashi (1992): Utility of Microbial Food Assemblages for Culturing a Crab, *Portunus trituberculatus*.  
Bull. Natl. Res. Inst. Aquaculture, 21, 25-29.
- 65) 前田昌調 (1994): 水産増殖における微生物バイオテクノロジー.  
Bull. Natl. Res. Inst. Aquaculture, 23, 1-15.
- 66) 前田昌調 (1992): バイオコントロールによる甲殻類の種苗生産.  
養殖研ニュース, 23, 21-23.
- 67) 大分県 (1991): 平成3年度地域特産種増殖技術開発事業報告書. 棘皮類, 大1-30.
- 68) 清水祥一・山根恒夫 (1990): バイオリクターシステム. 共立出版(株), 119pp.
- 69) 前迫信彦・中村伸司・四井敏雄 (1984): 数種の褐藻、緑藻発芽体ならびに藍藻のクロアワビ稚貝に対する餌料効果. 長崎研報, 10, 53-57.
- 70) 四井敏雄 (1978): *Myrionema* sp. (褐藻, ナガマツモ目)の季節的消長ならびにアワビ種苗生産用餌料としての利用. 水産増殖, 25 (4), 117-120.
- 71) 河村知彦・菊池省吾 (1992): エゾアワビ幼生の着底と変態に及ぼす付着珪藻の影響. 水産増殖, 40 (4), 403-409.
- 72) 伊東義信・金丸彦一郎・真崎邦彦・伊東史郎 (1987): アカウニ稚ウニ期の餌料として有効な付着珪藻種の探索-IV, 付着珪藻 *N. ramosissima* 単一種を用いたアカウニ幼生の採苗法の検討. 佐賀県栽培漁業センター研究報告, 1, 39-43.
- 73) 与那嶺盛次・大城信弘・岸村晶 (1995): シラヒゲウニの種苗量産技術開発試験. 平成5年度沖縄県栽培漁業センター事業報告書, 21-31.
- 74) 青戸泉・森勇一郎・後藤政則 (1994): アワビ種苗生産.

平成4年度佐賀県栽培漁業センター事業報告書, 5-9.

- 75) 大見政治・若野真・長井敏 (1991): エゾアワビ幼生の着底と稚貝の成長におよぼす付着珪藻類の影響. 水産増殖, 39(3), 263-266.
- 76) 富山県 (1990): 平成元年度地域特産種増殖技術開発事業報告書.  
巻貝グループ, 35pp.
- 77) 川嶋尚正・磯野剛男 (1991): クロアワビ稚貝の着底、生残に及ぼす初期餌料の種類と光条件の影響. 静岡県水産試験場研究報告, 26, 43-50.